



はじめに

On-premises ONTAP clusters

NetApp
April 30, 2024

目次

はじめに	1
BlueXPでのオンプレミスのONTAPクラスタ管理の詳細	1
オンプレミスのONTAP クラスタを検出	1

はじめに

BlueXPでのオンプレミスのONTAPクラスタ管理の詳細

BlueXPでは、AFF / FASコントローラとONTAP Select で実行されているONTAP クラスタを検出できます。オンプレミスのONTAP システムをBlueXPに追加することで、すべてのストレージとデータ資産を1つのインターフェイスから管理できます。

の機能

- NFSボリュームとCIFSボリュームを管理する
- ONTAP System Managerを使用して高度な管理を実行
- BlueXPの分析と管理により稼働状態とパフォーマンスの監視が可能になります
- BlueXPサービスを使用して、データをレプリケート、バックアップ、スキャン、分類、階層化できます
- BlueXPのデジタルウォレットで、ハードウェアとソフトウェアの契約ステータス情報を確認できます

コスト

コストは関連付けられる場合がありますが、次の条件によって異なります。

- クラスタを検出して管理するためのコネクタを導入するかどうか。
コネクタはクラウドまたはオンプレミスにインストールできます。
- バックアップとリカバリ、階層化、分類など、BlueXPサービスを使用しているかどうか。

オンプレミスのONTAP クラスタを検出

BlueXPからオンプレミスのONTAP クラスタを検出すると、ONTAP System Manager（BlueXPから入手可能）を使用してボリュームの管理や高度な管理を開始できます。

ステップ1：検出と管理のオプションを確認する

BlueXPには、オンプレミスのONTAPクラスタの検出と管理のための2つのオプションがあります。

コネクタを使用した検出と管理

このオプションでは、次の機能を使用してONTAP 8.3以降を実行するクラスタを管理できます。

- 標準ビュー：基本的なボリューム処理を提供します
- Advancedビュー：System Manager（ONTAP 9.10.0以降でサポート）を使用した管理を提供します。
- BlueXPサービスとの統合により、データレプリケーション、バックアップとリカバリ、データの分類、データ階層化を実現します

このオプションにはコネクタが必要です。コネクタは、クラウドプロバイダまたはオンプレミスにインス

ツールできます。

直接的な検出と管理

このオプションを使用すると、ONTAP 9.12.1以降を実行するクラスタをSystem Managerで管理できます。他の管理オプションはありません。[標準]ビューを使用したり、BlueXPサービスを有効にしたりすることはできません。

このオプションにはコネクタは必要ありません。

BlueXPサービスに接続されている9.12.1以降を実行するオンプレミスONTAP クラスタのSystem Managerにアクセスすると、BlueXPからクラスタを直接管理するように求められます。このプロンプトを実行すると、BlueXPで直接検出オプションを使用してクラスタが検出されます。

検出されたクラスタは、BlueXP Canvasで作業環境として使用できます。

後で他の検出オプションを使用する場合は、Canvas上の別の作業環境としてオンプレミスクラスタを検出する必要があります。そのあとで、もう一方の作業環境を削除することもできます。

ステップ2：環境をセットアップする

オンプレミスのONTAPクラスタを検出する前に、次の要件を満たしていることを確認してください。

一般的な要件

- BlueXPを使い始めました。これにはログインとアカウントの設定が含まれます。
["BlueXPの使用を開始する方法について説明します"](#)
- クラスタ管理IPアドレスとadminユーザアカウントのパスワードが必要です。
- BlueXPはHTTPSを使用してONTAP クラスタを検出しましたカスタムファイアウォールポリシーを使用する場合は、ONTAP クラスタがポート443経由のインバウンドHTTPSアクセスを許可する必要があります。

デフォルトの「mgmt」ファイアウォールポリシーでは、すべてのIPアドレスからの着信HTTPSアクセスが許可されます。このデフォルトポリシーを変更した場合、または独自のファイアウォールポリシーを作成した場合は、HTTPS プロトコルをそのポリシーに関連付けて、Connector ホストからのアクセスを有効にする必要があります。

コネクタ検出の要件

- オンプレミスクラスタでONTAP 8.3以降が実行されている必要があります。
- コネクタは、クラウドプロバイダまたはオンプレミスにインストールする必要があります。

コールドデータをクラウドに階層化する場合は、コールドデータの階層化先に基づいてコネクタの要件を確認してください。

- ["コネクタについて説明します"](#)
- ["複数のコネクタを切り替える方法について説明します"](#)
- ["BlueXPの階層化機能の詳細をご確認ください"](#)
- コネクタホストはポート443（HTTPS）経由のアウトバウンド接続を許可し、ONTAPクラスタはポート443経由のインバウンドHTTPアクセスを許可する必要があります。

コネクタがクラウドにある場合、すべてのアウトバウンド通信は事前定義されたセキュリティグループによって許可されます。

直接検出の要件

- オンプレミスクラスタでONTAP 9.12.1以降が実行されている必要があります。
- クラスタは、BlueXPサービスへのインバウンドおよびアウトバウンド接続を備えている必要があります。

\ <https://cloudmanager.cloud.netapp.com/ontap-service/check-service-connection>

- BlueXPコンソールにアクセスするために使用するコンピュータには、プライベートネットワーク内の他のリソースへの接続方法と同様に、オンプレミスのONTAP クラスタへのネットワーク接続が必要です。

手順3：クラスタを検出する

キャンバスから次の2つの方法のいずれかでオンプレミスのONTAPクラスタを検出します。

- [Canvas]>[My Working Environments]*で、オンプレミスのONTAPクラスタに関する詳細を手動で追加します。
- [キャンバス]>[マイエステート]*で、BlueXPログインのEメールアドレスに関連付けられているONTAPクラスタに基づいてBlueXPが検出されたクラスタを選択します。

検出プロセスを開始すると、BlueXPで次のようにクラスタが検出されます。

- ONTAPクラスタに接続しているアクティブなコネクタがある場合、BlueXPはそのコネクタを使用してクラスタを検出および管理します。
- コネクタがない場合やコネクタがONTAP クラスタに接続されていない場合は、BlueXPで自動的に検出と管理の直接オプションが使用されます。

クラスタを手動で検出します

クラスタ管理IPアドレスとadminユーザアカウントのパスワードを入力して、BlueXPでオンプレミスのONTAPクラスタを検出します。

手順

1. ナビゲーションメニューから、*ストレージ>キャンバス*を選択します。
2. [Canvas]ページで、*[Add Working Environment]>[On-Premises]*を選択します。
3. オンプレミスのONTAP の横にある*検出*を選択します。
4. [Discover_page]で、クラスタ管理IPアドレス、および管理者ユーザアカウントのパスワードを入力します。
5. クラスタを（コネクタなしで）直接検出する場合は、*[クレデンシャルを保存する]*を選択します。

このオプションを選択した場合は、作業環境を開くたびにクレデンシャルを再入力する必要はありません。これらのクレデンシャルは、BlueXPユーザログインにのみ関連付けられます。BlueXPアカウントの他のユーザが使用するために保存されることはありません。

6. [検出]*を選択します。

コネクタがなく、BlueXPからIPアドレスにアクセスできない場合は、コネクタを作成するように求められます。

結果

BlueXPはクラスタを検出し、それをキャンバス上の作業環境として追加します。これで、クラスタの管理を開始できます。

- ["直接検出されたクラスタを管理する方法について説明します"](#)
- ["コネクタを使用して検出されたクラスタを管理する方法について説明します"](#)

検出済みのクラスタを追加します

BlueXPは、BlueXPログインのEメールアドレスに関連付けられているONTAPクラスタに関する情報を自動的に検出し、*[マイサイト]*ページに未検出のクラスタとして表示します。検出されていないクラスタのリストを表示して、一度に1つずつ追加できます。

このタスクについて

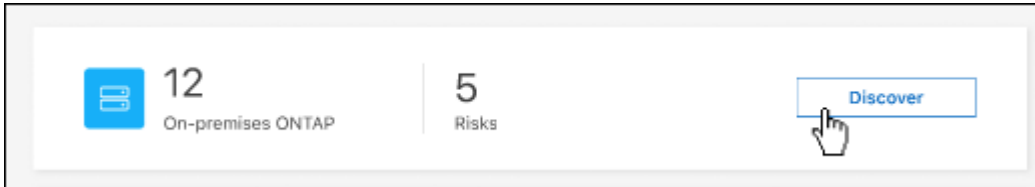
[My estate]ページに表示されるオンプレミスのONTAPクラスタについて、次の点に注意してください。

- BlueXPへのログインに使用するEメールアドレスを、フルレベルのNetApp Support Site（NSS）アカウントに登録しておく必要があります。
 - NSSアカウントでBlueXPにログインして[My estate]ページに移動すると、BlueXPはそのNSSアカウントを使用してアカウントに関連付けられているクラスタを検索します。
 - クラウドアカウントまたはフェデレーテッド接続を使用してBlueXPにログインし、[My estate]ページに移動すると、Eメールを確認するように求められます。このEメールアドレスがNSSアカウントに関連付けられている場合、BlueXPはその情報を使用してアカウントに関連付けられているクラスタを検索します。
- BlueXPには、AutoSupportメッセージのNetAppへの送信に成功したONTAPクラスタのみが表示されます。

- インベントリリストを更新するには、[My estate]ページを終了し、5分待ってからもう一度表示します。

手順

1. ナビゲーションメニューから、*ストレージ>キャンバス*を選択します。
2. [マイエステート]*を選択します。
3. [My estate]ページで、オンプレミスのONTAPの*[Discover]*を選択します。



ページのスクリーンショット。検出されていないオンプレミスのONTAPクラスタが12個表示されています。"]

4. クラスタを選択し、*[検出]*を選択します。

ONTAP clusters (12)					
Cluster name	ONTAP cluster IP	OS version	Cluster UUID	Show or hide cluster (12)	
<input checked="" type="radio"/> Cluster_name	192.158.1.38	9.1	759995470648	Show	▼
<input type="radio"/> Cluster_name	192.158.1.38	11.3.0.13	759995470648	Show	▼
<input type="radio"/> Cluster_name	192.158.1.38	9.1	759995470648	Show	▼

ページのスクリーンショット。検出されていないオンプレミスのONTAPクラスタが12個表示されています。"]

5. adminユーザアカウントのパスワードを入力します。
6. [検出]*を選択します。

コネクタがなく、BlueXPからIPアドレスにアクセスできない場合は、コネクタを作成するように求められます。

結果

BlueXPはクラスタを検出し、それをキャンバス上の作業環境として追加します。これで、クラスタの管理を開始できます。

- "直接検出されたクラスタを管理する方法について説明します"
- "コネクタを使用して検出されたクラスタを管理する方法について説明します"

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。